



# リークディテクタタンクキット

Greensmaster® 3300 TriFlex®トラクションユニット

モデル番号136-8545

## 取り付け要領

### ⚠ 警告

カリフォルニア州  
第65号決議による警告  
米国カリフォルニア州では、この製品に、ガンや先天性異常などの原因となる化学物質が含まれているとされております。

## 取り付け

# 1

### マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

### 手順

1. 平らな場所に駐車する。
2. 駐車ブレーキを掛ける。
3. エンジンを止め、キーを抜き取る。
4. バッテリーの接続を外す; マシンのオペレーターズマニュアルを参照。

# 2

### リークディテクタのタンクを取り外す

必要なパーツはありません。

### 手順

### ⚠ 警告

高圧で噴出する作動油は皮膚を貫通し、身体に重大な損傷を引き起こす。

- 油圧を掛ける前に、油圧ラインやホースに傷や変形がないか接続部が確実に締まっているかを確認する。
- 油圧のピンホールリークやノズルからは作動油が高圧で噴出しているので、絶対に手などを近づけない。
- リークの点検には新聞紙やボール紙を使う。
- 油圧関係の整備を行う時は、内部の圧力を確実に解放する。
- 万一、油圧オイルが体内に入ったら、直ちに専門医の治療を受けてください。



**重要**ここで接続を外した油圧オイルラインには、すべてプラグを嵌め、汚染を防止してください。

**注** 外したパーツはすべて再利用します。

手順については図 3を参照してください。

1. 少なくとも 8 リットルのオイルを回収可能な容器を、ポンプアセンブリの下に置く。
2. ポンプの吸い込み側のホースにクランプを掛け、ホースをポンプアセンブリに固定しているクランプを外す 図 1。

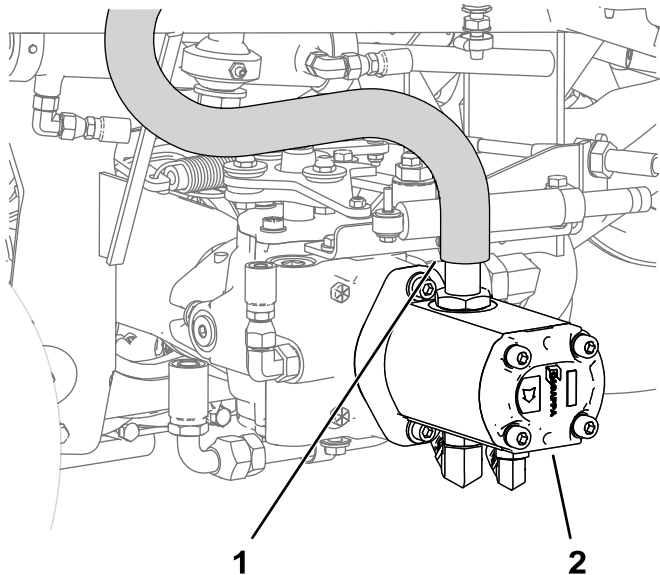


図 1

1. ポンプの吸い込み側ホース 2. ポンプアセンブリ

3. クランプを掛けたホースをポンプアセンブリから外し、クランプを外して油圧オイル約 8 リットルを、ステップ 1 で準備した容器に受ける。
4. オイルを回収したら、ホースからオイルが足れないように、クランプを掛ける。
5. リークディテクタタンクを油圧オイルタンクに固定しているキャップスクリュー 4 本、平ワッシャ、ネオプレンワッシャ、スペーサを外す。
6. オーバーフロージャンクションとディテクタタンクのバンプ部分を十分にきれいにする。ホースのクランプをゆるめ、ディテクタタンクのバンプ部分からオーバーフローホースを外す。
7. リークディテクタタンクを少し持ち上げて、既存のリークディテクタタンクの下にあるバンプ付きストレートフィッティングバルブホースがクランプ固定されているのクランプを外す。
8. 既存のリークディテクタタンクの下から、バンプ付きストレートフィッティングを取り外す。

## 9. リークディテクタタンクにカーボンキャニスタが搭載されているマシンの場合

- A. リークディテクタタンク下のカーボンキャニスタ用ブラケットからキャニスタを外す。
- B. キャニスタのブラケットから取り付けねじ 2 本を外し 図 2 タンクからキャニスタ用ブラケットを取り外す。

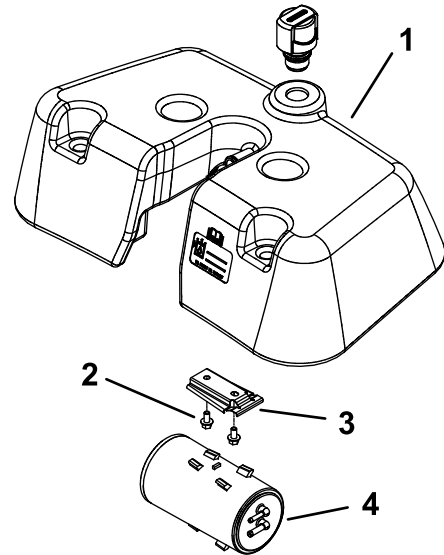


図 2

1. 既存のリークディテクタタンク 3. キャニスタ用ブラケット  
2. 取り付けねじ 2 本 4. カーボンキャニスタ

## 10. リークディテクタタンクアセンブリを機体から取り外す。





# 3

## リークディテクタタンクを取り付ける

必要なパーツはありません。

### 手順

1. リークディテクタタンクにカーボンキャニスタが搭載されているマシンの場合
    - A. キャニスタブラケット  をタンクに取り付ける取り付けようねじ 2 本を使用する。
    - B. リークディテクタタンク下のカーボンキャニスタ用ブラケットにキャニスタを取り付ける。
  2. ステップ8で外したバーブ付きストレートフィッティングに新しいOリングを、オイルで潤滑して入れる。
  3. キットのリークディテクタタンクの下側に、バーブ付きストレートフィッティングを取り付け、 $2328\text{N}\cdot\text{m}$   
 $2.53.0\text{kg}\cdot\text{m} = 1721\text{ft}\cdot\text{lb}$  にトルク締めする。
  4. バーブ付きストレートフィッティングにバルブホースを接続してクランプで固定する。
  5. リークディテクタタンクのバーブにオーバーフローホースを接続してクランプで固定する。
  6. リークディテクタタンクを油圧オイルタンクに固定するキャップスクリュ4本の根元部分に固着防止潤滑剤を塗る。
- 重要**リークディテクタタンクをメインタンクに取り付ける時に、締め付けすぎないように注意してください。締め付けすぎるとタンクのねじ溝が破損します。
7. リークディテクタタンクをメイン油圧オイルタンクに固定するキャップスクリュ4本、スペーサ、ネオプレンワッシャ、平ワッシャを使用する。
  8. キャップスクリュ  $36\text{ N}\cdot\text{m}$   $0.40.5\text{kg}\cdot\text{m} = 3050\text{inlb}$  にトルク締めする。
  9.  のように、ディップスティックについているマーク95mmのところでディップスティックを切断し、リークディテクタタンクの口にディップスティックを取り付ける。

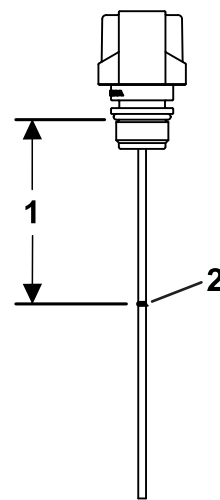


図 4

g224251

1. 95mm

2. ここでディップスティックを切断

# 4

## 組み立てを完了する

必要なパーツはありません。

### 手順

1. 油圧オイルタンクにオイルを戻すマシンのオペレーターズマニュアルを参照。
2. リークディテクタシステムが適切に動作することを確認するマシンのオペレーターズマニュアルを参照。
3. バッテリーを接続する; マシンのオペレーターズマニュアルを参照。